



## 「ドント・ウォーリー」

～心配ばかりしていませんか？～

「ですから、何を食べようか、何を飲もうかなどと言って、あくせくしたり、気をもんだりすることをやめなさい。こういうものは、みな、神様を知らない人たちが一生懸命に求めているものです。しかし、これらのものがあなたがたに必要なことぐらいいは、天のお父様はよくご存じです。ですから、神様のことをいつも第一にしなさい。そうすれば、衣食住は、天のお父様が必ず面倒を見てくださいます。」  
ルカ福音書12章29～31節

イエス様の語る内容はちょっと普通の方とは違ったようです。何か異次元に住んでいらっしゃる方のような、どこか別世界の人のような部分を感じます。かといって、仙人のような生活をされていたわけではありませんが、この世の心配からは完全に解き放たれていたような世界を持っておられました。

私たちは「信仰生活」という言葉を使いますが、時々「信仰」と「生活」が別々になってしまうことがあります。そうすると、どうしても両方が両立しなくなってしまいます。使い分けるところにもいつしか疲れ果ててしまいそうなことがあります。

パウロもそんな人間の苦しみを嫌というほど体験して、苦しみました。そして、必死に神様に祈って、「どうかしてください、神様！」と何度も訴えました。すると、主が答えられました。「わたしの恵みはあなたに対して十分です」と。リビングバイブルでは、「わたしがあなたと共にいる。それで充分ではないか。」と。しかし本当に充分なのか？実際にはそうではありません。具体的に必要が依然としてあります。しかし、その語っておられるお方がどんなお方であるかということを考える時、「そうだ、充分なのだ！」と悟ることができ、救われるのです。

私たちは様々な人生の局面を迎えます。仕事や育児や進学や就職や結婚、そして、病や愛する者の死。その時々、信仰の嵐に遭遇します。そんな「死にそうだ！」と感じるような瞬間の真ん中で、主の御手の中で、平安に過ごすことができるのです。「あなたの人生の向こう岸へ渡ろう！」とあなたに語りかけておられるお方の手を握ってみましょう。きっと、主はあなたの手を力強く握り返してくださるはずで。

もうすぐ主のご復活をお祝いするイースターです。主の十字架と復活は、もうすでになされました。それは私たちの人生の勝利をも意味しています。永遠の輝きを持って主の命は私たちの人生の中に輝いています。少しだけ、周りの喧騒から目をそらして、澄んだ主の瞳を見つめる時、その瞳の中に、全宇宙の大きさを見ることができでしょう。

さあ、ご一緒に、勝利者なる主イエス様のふところに飛び込みましょう！そして、豊かな力と喜びをいただきましょう！「あなたの将来には希望があると主は言われる！」